

令和5年度活動方針について

1 会員への情報提供及び情報交換

(1) 方針

- 会員相互の情報交換を促進するため、交流の機会を設ける。
- 他のネットワーク組織やインキュベーション施設、公設試、千葉県等との連携を強化し、相補的・発展的な活動展開を図る。
- 県の産業振興策をはじめ、国の政策やAMED、NEDO等の事業に関する情報収集を行い、会員へ情報提供する。

(2) 具体的な取組

ア 総会（事例報告会と同時開催予定）

- 時 期：令和5年6月15日（木）
- 方 法：現地開催（東京ステーションコンファレンス）
- 内 容：令和4年度事業報告、令和5年度事業方針（案）

イ 企画運営会議

- 時 期：令和6年3月
- 方 法：未定

ウ 事例報告会（総会と同時開催予定）

- 時 期：令和5年6月15日（木）
- 方 法：現地開催（東京ステーションコンファレンス）
- テーマ：「有用藻類の高度利用による物質生産の仕組みづくり」

エ セミナー

(ア) 第1回

- 時 期：令和5年9月5日（火）【予定】
- 方 法：現地（量子生命科学研究所）とオンラインのハイブリッド開催
※量子科学技術研究開発機構と共催
- テーマ：「量子技術に基づく生命現象の解明と医学への展開（仮）」

(イ) 第2回

- 時 期：未定
- 方 法：未定
- テーマ：未定

オ ネットワーク形成及び情報交換

企業や研究機関等がニーズ発信やマッチング、情報交換等、双方向の交流をできる機会を設け、ネットワーク形成を促進するとともに、外部ネットワーク等との連携を強化する。

また、バイオ戦略（統合イノベーション戦略推進会議）が目指す市場領域や本県の特徴等を踏まえ、G T B協議会の取組や情報も活用し、タイムリーな話題の提供や産学連携・産産連携等による新事業・新産業の創出に資するセミナーや勉強会等を開催する。

2 共同研究プロジェクトの創出に向けた取組

（1）方針

- 新たなプロジェクト創出のため、県内大学・研究機関のシーズと企業ニーズの探索に努める。
- 共同研究プロジェクトの創出に向け、情報交換の機会を設ける。

（2）具体的な取組

- 会員の事業内容等を把握・整理し、必要に応じてマッチングの機会を設ける。
- バイオ戦略が目指す市場領域において、本県の強みを活かせる分野を模索するとともに、有望な分野については、関係者による情報交換の機会を設ける。
- 企画運営会議等で提案のあった内容等について、必要に応じヒアリングを行った上で、関係者による情報交換や勉強会等の機会を設ける。